

平成 24 年 3 月 22 日

各 位

東京都文京区白山五丁目 1 番 3 号

株式会社ビーマップ

代表取締役社長 浅賀 英雄

(大証JASDAQ: 4316)

問合せ先: 経営管理部長 大谷 英也

(電話 03-5842-5033)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 23 年 5 月 12 日に公表した平成 24 年 3 月期通期の連結業績予想・個別業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 連結業績予想数値の修正

平成 24 年 3 月期通期連結業績予想修正 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1 株当たり 純利益
前回発表予想 (A)	970	0	0	0	0 円 00 銭
今回修正予想 (B)	1,050	△30	△50	△70	△2,180 円 75 銭
増減額 (B - A)	+80	△30	△50	△70	—
増減率 (%)	+8.2%	—	—	—	—
(ご参考) 前期 (平成 23 年 3 月期) 実績	675	△158	△179	△184	△5,745 円 79 銭

2. 個別業績予想数値の修正

平成 24 年 3 月期通期個別業績予想修正 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1 株当たり 純利益
前回発表予想 (A)	970	0	0	0	0 円 00 銭
今回修正予想 (B)	1,050	△30	△30	△50	△1,557 円 68 銭
増減額 (B - A)	+80	△30	△30	△50	—
増減率 (%)	+8.2%	—	—	—	—
(ご参考) 前期 (平成 23 年 3 月期) 実績	675	△162	△159	△190	△5,940 円 20 銭

2. 修正理由

現時点における営業成績並びに3月末までの受注・生産状況等を踏まえ、また営業外費用の見通等も勘案し、連結並びに個別の通期業績予想を修正するものであります。

当社の売上は、大手社会インフラ系企業様からの受注を基盤として、新規、とりわけ下期に比重をおいた受注を積上げて構成されております。

今期におきましては、特に第3四半期以降、クロスメディア事業分野の無線LAN関係の急速な受注拡大に伴い、全社生産活動もこの分野の売上の確保に重点化することとしました。第3四半期終了時までは、年初計画を上回るペースで進捗しており、第4四半期以降の受注も当初予定を上回っておりますが、期待していた利益率を達成できず、上半期の損失回復までには至りませんでした。

また、持分法適用会社等の業績が予定を下回る見込みであり、保守的な観点から、第4四半期において持分法投資損失、当期末において株式評価損の見込額を織り込んでおります。

その他、連結において、子会社貸付金に係る貸倒損失2百万円を計上することといたしました。事業分野別の状況は以下のとおりであります。

① ナビゲーション事業分野

鉄道関連につきましては、引き続き堅調に進んでおりますが、予定以上の原価が発生し若干利益率が低下しております。道路ナビ関連につきましては、無線LANへのシフトに伴い新規案件受託を縮小しております。

なお、今期より開始した古地図復元サービス「今昔散歩」については、アプリの一部の有料化が遅れており収益への貢献はありません。

当事業分野の今期売上見込は、245百万円（前期294百万円、今期当初予想400百万円）です。

② モニタリング事業分野

震災による納品の延伸が発生した影響が出たものの、第3四半期・第4四半期と徐々に回復しております。しかしながら、飲食店向けの出荷がやや低下しており、当初計画を下回る見込みです。

下期の重点課題としておりました代理店等との協力によるASP 拡販はほぼ予定通り進捗しております。

当事業分野の今期売上見込は、190百万円（前期188百万円、今期当初予想260百万円）です。

③ クロスメディア事業分野

無線LAN 関連においては、スマートフォンのトラフィック増に対応するための通信キャリア等の設備投資が活発になっており、第3四半期以降、受注環境に反映されております。下期以降、大型案件が具体化しており、当期内の受注・売上につなげるべく体制整備を進めました。TVメタデータ関連は伸び悩んでおります。

当事業分野の今期売上見込は、615百万円（前期191百万円、今期当初予想310百万円）です。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいております。

(注) 平成24年3月期通期決算短信は、平成24年5月11日に発表する予定です。

以 上